

水中点検ロボットの現状に関する説明会 (中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム/技術開発WG)

中部地整

水中点検ロボットは、従来潜水士が行っていた水中構造物・機械設備等の点検を安全に水上から遠隔操作で行うため開発されました。今回各社が開発した水中点検ロボットを矢作ダム の現地フィールドを用いデモンストレーションや展示紹介をしました。また開発メーカーと参加各社とで意見交換をすることで水中ロボットに関する理解を深めることが出来ました。

開催概要

開催日時：平成29年1月19日（木）13：30～16：00
開催場所：中部地方整備局 矢作ダム管理所

参加者

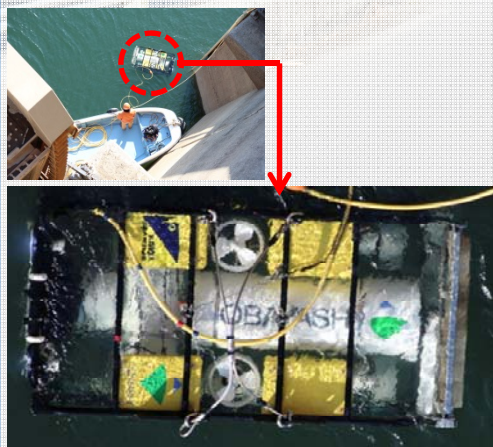
- ・ コンソーシアム会員
 - ・ 本省職員
 - ・ 国土技術政策総合研究所職員
 - ・ 中部地方整備局職員
 - 三菱電機(株)
 - (株)前田製作所
 - (株)NTジオテック中部
 - (株)フジヤマ
 - 徳倉建設(株)
 - 太啓建設(株)
 - 豊国工業(株)
 - 日本建設機械施工協会 中部支社
 - (一財)先端建設技術センター
 - (株)大林組
 - パナソニック(株)
- 計 40名

次世代社会インフラ用ロボット（水中）の現状説明



(一財)先端建設技術センターによる説明

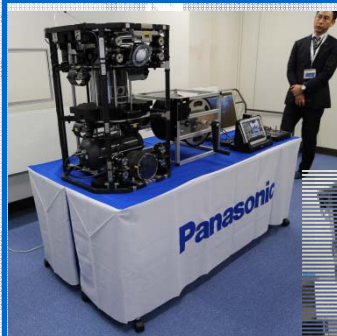
【現場】(株)大林組が開発した水中ロボットの現地見学



放流設備の点検：画像鮮明化技術により鮮明化された画像を確認

水中ロボット実機

【展示】パナソニック(株)が開発した水中点検ロボットの紹介



水中ロボット実機



プロポ、モニターなど